

2 地域別まちづくり構想

以下に、5つの地域の特徴とまちづくりの方針の概要を一覧でまとめました。各地域の特徴及びまちづくりの方針の詳細は、次頁以降の各地域のまちづくり構想をご確認ください。

■5つの地域の特徴とまちづくりの方針

〈北部地域〉

特 徴

- 【1】・宮戸・朝志ヶ丘地区等の住宅密集地では地震・火災による延焼リスクがあります。
 - ・河川沿いの浸水想定区域に住宅地が立地し、一部は5 m以上の浸水が想定されるなど、内水・外水氾濫ともにリスクの高い地域となります。
- 【2】・北朝霞・朝霞台駅が立地し、朝霞台駅の建替や北朝霞駅北口広場の再整備が計画されています。
 - ・駅前の商業・業務地として合理的な土地利用を実現するために地区計画が定められています。
- 【3】・駅や市街地の近くに黒目川等の水辺空間や、農地・緑地などの豊かな自然が残されています。

方針

- 【1】地震・火災による延焼リスクや水害による浸水リスクを地域と共有し、低減するための対策の充実を図ります。
- 【2】駅周辺では計画的な土地利用の誘導に加え、朝霞台駅の建替や北朝霞駅北口広場の人中心の広場への転換等の契機を生かし、誰もが安心して過ごせる空間づくりを推進し、官民連携によるにぎわい形成を図ります。
- 【3】駅や市街地の近くに黒目川等の水辺空間や、農地・緑地による豊かな自然が残されている特徴を生かし、自然と生活環境のつながりの強化により地域への愛着を高めます。

〈西部地域〉

特徴

- 【1】・三原地区の住宅密集地では地震・火災による延焼リスクがあります。
 - ・黒目川左岸の浸水想定区域に住宅地や福祉施設、医療施設等が点在しています。
- 【2】・黒目川の水辺空間（桜並木等）や農地・緑地のみどりが残された良好な居住環境が形成されています。
- 【3】・駅周辺では地区計画による商業・業務空間の充実に向けた取組により店舗や医療施設等の都市機能が一定程度集積しています。
 - ・企業が多く立地しており、民間企業と連携したまちづくりを図るポテンシャルを有しています。

方針

- 【1】地震・火災による延焼リスクや水害による浸水リスクの低減に向けた対策の充実を図ります。
- 【2】黒目川の水辺空間（桜並木等）や農地・緑地のみどりが残る良好な居住環境の維持・活用を図ります。
- 【3】駅周辺への都市機能の集積や企業・工場が立地している特性を生かし、民間企業と地域との連携強化と、利便性の向上やにぎわいの創出を図ります。また、人と人、人とお店や企業、自然と地域等のつながりの強化により、新たな発見やにぎわいが生まれる地域づくりを行います。

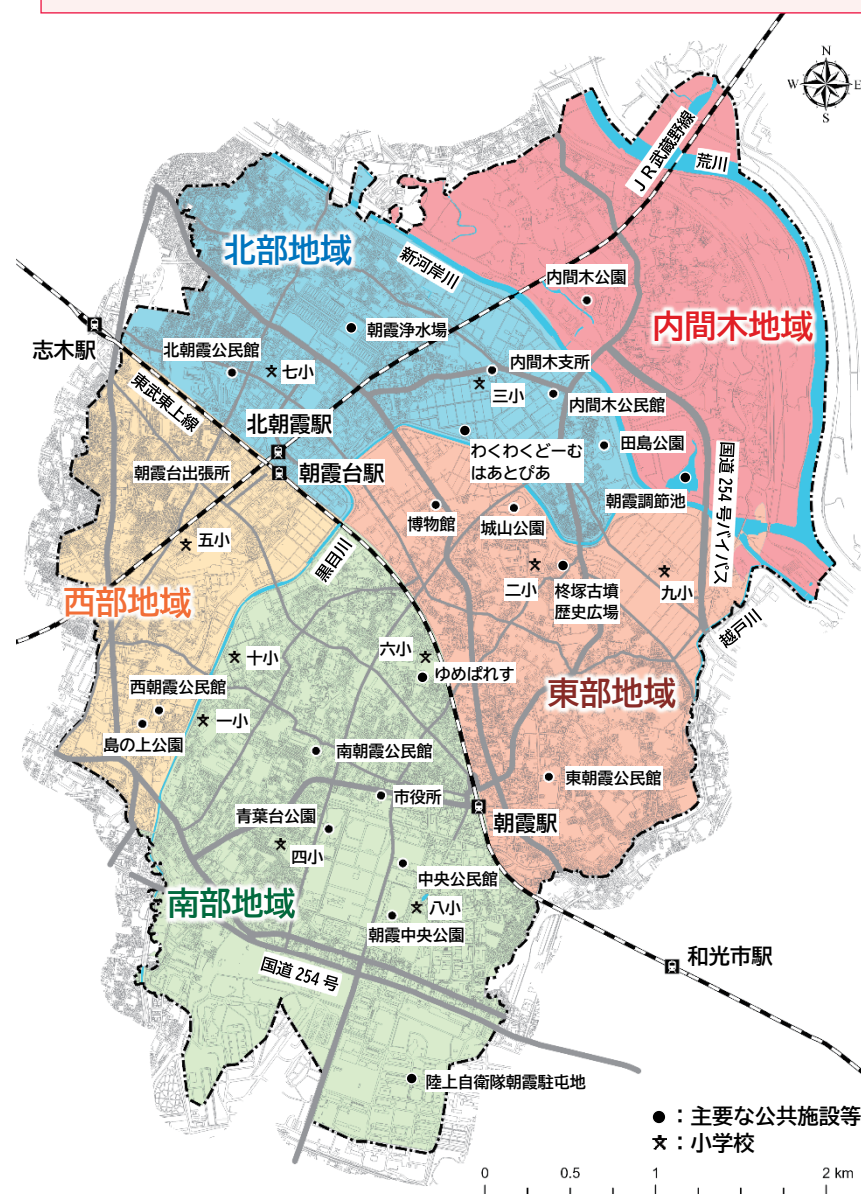
〈内間木地域〉

特徴

- 【1】・荒川、新河岸川に挟まれ、地盤が低く、内水・外水氾濫ともにリスクの高い地域となります。
- ・トラックの生活道路への進入が多く、スピードが速いこと等により、交通事故が多く発生しており、交通安全対策の強化が求められています。
- 【2】・荒川・新河岸川の良好な水辺空間や、農地・緑地が多く分布しており、豊かな自然環境を有しています。
- 【3】・国道254号バイパスの開通に伴い、沿道緑地の保全を考慮した計画的な土地開発が求められています。
- ・地域内には朝霞水門や調節池等の来街者を呼び込むポテンシャルのある地域資源が存在します。

方針

- 【1】水害による浸水リスクや交通安全に関する対策の充実により、誰もが安全・安心に過ごせる環境を確保します。
- 【2】荒川や新河岸川といった河川や農地等のみどりが残る豊かな自然環境を適切に維持・管理します。
- 【3】国道254号バイパスの整備による沿道土地利用のポテンシャルや朝霞水門、調節池等の地域資源を生かした地域の活性化を図ります。



〈東部地域〉

- 【1】・黒目川右岸や城山公園南側の浸水想定区域に住宅地や医療施設等が点在しています。
・農地や斜面林等のみどりのある豊かな自然環境が残されています。
- 【2】・朝霞駅が立地し、駅周辺の空地等を活用したにぎわい創出のポテンシャルがあります。
・国道254号バイパスの整備に伴い、沿道土地利用のポテンシャルが高まっています。
- 【3】・根岸台地区は公共交通の利便性の低いエリアが存在します。

- 【1】 水害対策等、安全なまちへの取組を実施しながら、農地や斜面林等のみどりが残る静かな居住環境を維持し、その資源の有効活用により地域力の強化を図ります。 
- 【2】 朝霞駅周辺や国道254号バイパス沿道ではそのポテンシャルを生かし、メリハリをつけてにぎわい形成を図ります。 
- 【3】 移動の目的に応じた多様な移動手段の確保により、誰もが移動しやすい環境を創出し、居住と産業が共存した地域を目指します。  

〈南部地域〉

特徴

- 【1】・幸町、本町、栄町の住宅密集地では地震・火災による延焼リスクがあります。
 - ・黒目川右岸沿いの浸水想定区域に住宅地や福祉施設等が点在しています。
 - ・小・中学校周辺に限らず交通安全対策の充実が求められています。
- 【2】・黒目川の水辺空間や基地跡地等のみどりがある豊かな自然環境が残されています。
 - ・川越街道の面影を残した史跡があり、歴史的文化資源を有しています。
- 【3】・朝霞駅や基地跡地周辺では、公共空間を活用したイベントが継続的に開催されています。
 - ・工業系用途地域において住宅用地が多くみられ、住工混在となっています。

方針

- 【1】 地震・火災による延焼リスクや水害による浸水リスクの低減に向けた対策の充実と、交通安全対策の強化により、誰もが安全・安心に生活できる住環境を整えます。
- 【2】 黒目川の水辺空間や基地跡地等のみどりが残る豊かな自然環境や、川越街道の歴史的文化資源等の適切な維持管理・活用を図ります。
- 【3】 朝霞駅や基地跡地周辺の充実した都市機能や公共空間を生かし、官民連携による一体的なにぎわいや活力の創出を図るとともに、地域内に立地する企業等との連携・協働による地域経済活性化に向けた取組を推進します。

《凡例》

【安】テーマ【安全・安心】に関連する方針

【環境】テーマ【自然・環境】に関連する方針

【移】テーマ【快適な移動】に関する方針

【にぎわい・活力】に関する方針